

2020年12月27日 主日礼拝

司式：金刺長老
奏楽：中村

*讃美歌は声を出さずに心の中で歌いましょう。

《神のみ前に近づく》

前奏

序詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の
交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 365-1節 (古い年は行く)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、この一年を振り返りながら、あ
なたへと礼拝を献げています。与えて頂いた恵み
と祝福に感謝します。同時に過ごして来た日々の
罪をさげすみます。赦し、洗い清めてください。

目に見えないウィルスの脅威に脅かされて来ま
した。私たちがいかに目に見えるものだけに備え、
対策を施していたかを教えられました。新しい年
が目に見えないものに目を注いで行く生き方を求
める者となりますように。私たちのウィルスとの
戦いを守り、良き方向へと導いてください。

「私の魂はあなたに付き従い

あなたは右の御手で私を支えてくださいます。

私の命を奪おうとする者は必ず滅ぼされ

陰府(よみ)の深みに追いやられますように。」

(詩編 63: 9~10)

*しばらく黙禱の時をもちます

主よ、私たちの心と体を生き返らせ、喜びで満た
してください。御名によって祈ります。アーメン

讃美歌 32-1節 (キリエ)

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

*司式者がローマ書5章6~9節を朗読します。

アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖書

詩編 13 1~6節 (旧p844)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ローマの信徒への手紙8章34~38節 (新285)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 364-1節 (いのちと愛に満つ)

説教

『詩編13—主よ、いつまでですか?』

祝福の祈り 武田真治牧師

《神への応答》

讃美歌 479-1節 (喜びは主のうちに)

献金 奉仕者：小草 長村

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 =ともに祈りましょう

報告

讃美歌 83-1節 (聖なるかな)

祝祷 武田真治牧師

後奏

報告と退場

受付：金刺 坂田 礼拝：坂田長老

＜先週の説教から＞

『クリスマス—天と地の平和のため』

ゼカリヤ書 8:4~13 ルカによる福音書 2:8~14

コロナの感染を防ぐために、礼拝での讃美歌唱和
を控えました。これで礼拝なのかという思いがどう
してもあります。他教会では礼拝の自粛を再開され
た所もあります。クリスマスを中心から喜べないとい
う声も耳にします。しかし、主の御降誕は私たちの
側が楽しめるか、楽しめないかによって、その喜ぶ
が変わって来るものなのではないでしょうか？

今日の箇所、「夜通し羊の群れの番をしていた」
羊飼いたちに「主の天使が近づき」、そして告げた
言葉が「わたしは、民全体に与えられる大きな喜び
を伝える」でした。原文通りに訳せば「私は大きな
喜びを伝える、その喜びは民の全体の喜びになるで
あろう」というものです。まず始めに、何より天で
大きな喜びが起こったのだと。いよいよ救い主がお
生まれになることは、天での最高のお祝い事であっ
たのだと。その天の喜びが溢れ、それは次に地の喜
びとなると、天使たちが羊飼いに知らせたと言われ
ているのです。それ故、この後「天使に天の大軍が
加わり、『いと高きところ (=天) には栄光、神に
あれ、地に平和あれ』と讃美の声が続いているの
です。私たちはこの喜びに連ならせてもらっている
のです。私たちが嬉しいから、祝うのではなく、ク
リスマスの《天の喜び》に加えてもらっているの
であり、クリスマスの喜びは、私たちの側にあるの
ではなく、天にその源を持つのです。だから、どのよ
うな状況の中でも喜ぶことが出来るのです。

そして、この喜びは「地に平和」をもたらしてく
れると約束されています。この地に平和が実現しま
すようにと、このクリスマスに何より祈ります！

本日の集会

礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後：・牧会/礼拝/教育/社会/伝道 各委員会

お茶の会 当分の間休会です。